



JASDAQ

平成 17 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー  
代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏  
( J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0 )  
問い合わせ先 執行役員経営企画部長 片山 靖浩  
電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 1 0 0 ( 代 表 )

## 平成 18 年 2 月期 9 月度の概況についてのお知らせ

平成 18 年 2 月期 9 月度の概況について別紙のとおり集計ができましたのでお知らせいたします。  
なお、当社は投資家をはじめ利害関係者の方々に対し、企業情報を迅速かつ正確に理解していただくため、下記のとおり月次売上高情報およびその他の開示情報を当社インターネットホームページ上で開示しております。

### 記

- 1 . 開 示 情 報 毎月の概況（月次売上高等）業務提携に関するお知らせなど公表したすべての開示情報
- 2 . 使 用 媒 体 当社インターネットホームページ（<http://www.tay2.co.jp>）

以 上


株式会社テイツー 2006年2月期 9月度概況

9月度営業概況

9月度は、人気タイトルの発売により新品ビデオ・DVDおよび新品CDの売上が好調に推移したほか、アイ・カフェ既存店の売上も順調に推移しており、テイツー単体売上高は前年同月比16.8%増の2,507百万円となりました。

古本市場事業の既存店売上高につきましては、「ファイナルファンタジー アドベントチルドレン」のヒットにより新品ビデオ・DVDの売上高が大きく拡大したほか、「ミスター・チルドレン」、「倅田來未」の新アルバムの発売により新品CDも好調でありました。また、引き続き中古ゲームも好調に推移しており、古本市場事業の既存店売上高は対前年同月比7.7%増となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、フリーフードメニューのバリエーション拡充、岡山県内や大阪市内の近隣店舗において相互利用促進のための共同プロモーションなどを実施いたしました。また、昨年の8月にオープンしたBiVi 仙台店(仙台市)および9月にオープンした桜木インター店(新潟県)の売上高が大きく増加しており、アイ・カフェ事業の既存店売上高は対前年同月比32.2%増と大きく拡大いたしました。

EC事業につきましては、今期より古本などの卸売業務を大幅に縮小した影響により、EC事業全体の売上高は対前年同月比11.1%減となりました。しかし、 を通じて、古本、新品・中古のゲーム・CD・DVDなどを販売しているEC売上や、リサイクルトナーカートリッジ販売は拡大しており、卸売を除いたEC事業の売上高は対前年同期比40.8%増となっております。

1. 単体売上高速報

(百万円)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
売上高	2,512	2,338	2,165	7,016	2,033	2,681	2,939	7,654	14,670	
対前年同月増減率	0.7%	11.1%	-0.1%	3.7%	14.8%	26.7%	21.7%	21.4%	12.2%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
売上高	2,507									
対前年同月増減率	16.8%									

2. 事業セグメント別既存店売上高速報(対前年同月増減率)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
古本市場事業	-5.5%	7.8%	-4.3%	-1.0%	11.8%	17.4%	12.2%	13.8%	6.2%	
アイ・カフェ事業	28.1%	65.3%	25.1%	37.7%	15.8%	11.0%	34.5%	21.4%	27.8%	
EC事業	-7.1%	10.0%	24.5%	7.4%	63.5%	-7.1%	-3.2%	12.3%	9.8%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
古本市場事業	7.7%									
アイ・カフェ事業	32.2%									
EC事業	-11.1%									

- (注) ・今期より、事業セグメント別に既存店売上高速報(対前年同月増減率)を発表しております。ここには連結対象子会社の売上高も含まれているため、1.の単体売上高の対前年同月増減率とは連動いたしません。
- ・2005年7月1日付で連結対象子会社の㈱ブック・スクウェア中部を吸収合併したことに伴い、対前年同月増減率の算出に際しては、前年度においてもブック・スクウェア店舗がテイツー直営店であったものとして、増減率を算出しております。
  - ・アイ・カフェ事業は、㈱テイツーおよび連結対象子会社の㈱アイ・カフェ運営の直営店の合計値であります。
  - ・EC事業は、連結対象子会社の㈱ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
  - ・既存店は、開店後13ヶ月目からを既存店舗と定義しております。

### 3. 出退店の状況

	05/8 末店舗数	出店数	退店数	05/9 末店舗数
古本市場事業	114	0	1	113
（古本市場直営店）	77	0	0	77
（古本市場業務提携・FC店）	32	0	1	31
（ブック・スクウェア）	5	0	0	5
アイ・カフェ事業	19	0	0	19
（直営店）	11	0	0	11
（FC店）	8	0	0	8
合計	133	0	1	132

（注）今期より、店舗の分類を、古本市場事業、アイ・カフェ事業別に分類して表示しております。

また、従来のセミパッケージ店舗については、古本市場業務提携・FC店に含めて表示しております。

（注）売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。  
また、監査法人による会計監査は受けておりません。